



Noritake

第 144 期
中間報告書

2024 年 4 月 1 日 ➡ 2024 年 9 月 30 日

ノリタケ株式会社

証券コード：5331



代表取締役社長

あおやま 明

株主の皆様には、平素より当社をご支援いただきまして、心より厚く御礼申し上げます。

ここにノリタケグループの第144期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の経営成績と今後の取り組みについてご報告申し上げます。

第144期中間期の連結業績のご報告

当中間期は、国内では、個人消費は持ち直しの動きがみられ、企業収益が総じて改善する中で設備投資も持ち直しの動きが続くなど、景気は緩やかに回復しました。海外では、米国は個人消費を中心に景気が拡大し、中国は不動産不況を背景に景気低迷が続く、欧州は持ち直しの動きがみられました。引き続き、国内は緩やかな回復が期待されますが、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の停滞、ウクライナや中東情勢を巡る地政学リスクの高まりなど、依然として世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

こうした情勢の下、当社グループは第12次中期経営計画の最終年度として、収益基盤の強化と成長領域への仕込みに取り組んでまいりました。

その結果、当中間期の連結売上高は697億89百万円、連結営業利益は54億43百万円、連結経常利益は72億17百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は60億48百万円となりました。

中間配当につきましては、配当方針及び今後の業績見通しを踏まえ、1株当たり65円とすることといたしました。また、2024年8月6日開催の取締役会の決議に基づき、株主還元の充実と資本効率の向上を図ることを目的に、取得株式数75万株、総額25億円を上限とした自己株式の取得を実施しております。

第144期(2025年3月期)連結業績予想

売上高	1,410 億円
営業利益	110 億円
経常利益	145 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	120 億円

中期経営計画の進捗

当社グループでは、2030年度における長期ビジョン(ありたい姿)として「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を掲げており、その実現に向けて第12次中期経営計画は、「収益基盤の強化と成長領域(環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング)への仕込み」の期間と位置付けています。

「収益基盤の強化」として、不採算商品・事業の再編、収益改善・合理化を進め、「成長領域への仕込み」として、増産・拡販への対応、経営基盤の強化を進めています。

当中間期の主な取り組みは、環境領域では、エンジニアリング事業において、リチウムイオン電池用連続焼成炉の受注増加に対応するため、組立工場の増設に着工しました。エレクトロニクス領域では、工業機材事業において、パワー半導体ウエハー用工具である「砥粒内包型研磨工具(LHAパッド)」の販売拡大に対応するため量産ラインを構築して生産を開始しました。セラミック・マテリアル事業において、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強を進めています。ウェルビーイング領域では、工業機材事業において、注射針研削用砥石の生産能力の増強を進め、エンジニアリング事業において、医療・医薬などの新分野への参入を目的としたテストセンターの拡充に着手しました。

経営基盤の強化としては、以下の4つのテーマを掲げて取り組んでいます。

テーマ	主な取り組み
新事業の創出	●開発テーマ提案制度を含む事業化プロセスの定着と改善 ●オープンイノベーション推進体制の構築
組織風土の改革	●新人事制度の導入(2024年4月) ●エンゲージメントサーベイの実施、課題設定と施策立案への活用
サステナビリティ経営体制の整備	●リスクマネジメント委員会の設置(2024年4月) ●マテリアリティに対して設定した目標を達成するための取り組みの推進
DXの推進	●DX推進体制の整備 ●「DX推進リーダー」育成プログラムの実施

当社は2024年7月25日付で「株式会社ノリタケカンパニーリミテド」から「ノリタケ株式会社」へ社名を変更いたしました。お客様から親しみをいただいているブランド名「ノリタケ(Noritake)」と社名を統一することで、更なるブランド認知向上を図るとともに、一層の事業拡大と企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、こうした当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

工業機材事業

主要製品

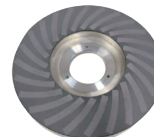
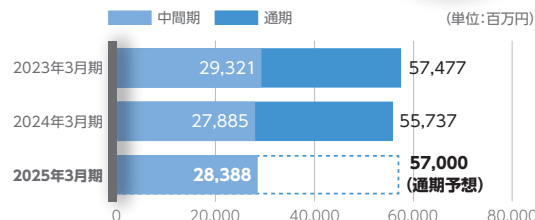
研削砥石、ダイヤモンド工具、CBN工具、
切断・オフセット砥石、研磨布紙、
研削・研磨関連商品(研削油剤等)

売上高構成比率

40.7%

オーダーメイド品は、国内では、主要顧客である自動車、鉄鋼、ベアリング業界の生産が減少したことから、売上は減少しました。海外では、北米は自動車生産が回復、中国は鉄鋼向けの受注が増加し、東南アジアも電子部品関連業界向けが堅調に推移したことから、海外全体では売上は増加しました。汎用品は、オフセット砥石などの汎用砥石が、国内及びアジア向けが伸び悩んだことから、売上は減少し、研磨布紙は、タイ国関連会社を連結子会社化したこともあり、売上は増加しました。

その結果、工業機材事業の売上高は、283億88百万円(前年同期比1.8%増加)、営業利益は9億57百万円(前年同期比0.3%減少)となりました。



鉄系材料・硬脆材料用 新メタルホイール
[Ideal Metal]

売上高構成比率

33.9%

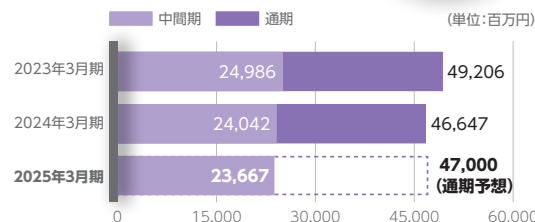
セラミック・マテリアル事業

主要製品

電子ペースト、転写紙、画付原料、厚膜回路基板、石膏、
セラミックコア、多孔質セラミック部材、
蛍光表示管及び同モジュール、電子部品材料、セラミック原料等

電子ペースト及び電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料において、自動車・サーバー向けが堅調に推移したことに加え、通信分野向けも回復が見られ、売上は増加しました。厚膜回路基板は、米国向けの医療センサー用が堅調で、売上は増加しました。石膏は、海外の建材が増加したため、売上は増加しました。セラミックコアは交換需要、新規需要共に回復したことから、売上は増加しました。蛍光表示管は、在庫調整の影響を受け、売上は減少しました。セラミック原料は耐熱ガラス用が大きく減少しました。

その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、236億67百万円(前年同期比1.6%減少)、営業利益は36億93百万円(前年同期比14.5%増加)となりました。



セラミックコア

エンジニアリング事業

主要製品

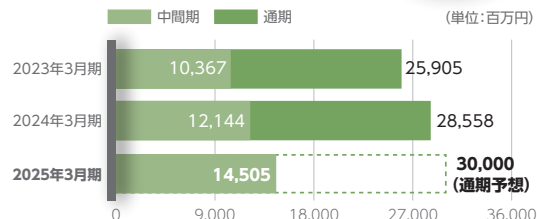
焼成炉、乾燥炉、攪拌装置、濾過装置、
超硬丸鋸切断機、ロードカッター等

売上高構成比率

20.8%

主力の焼成炉及び乾燥炉は、リチウムイオン電池用が堅調に推移したことにより、売上は増加しました。攪拌装置は、主要分野の化学向けが国内向けは低調でしたが、海外向けが増加したことから、売上は前年並みとなりました。濾過装置は、自動車・エレクトロニクス向けが回復し、売上は増加しました。超硬丸鋸切断機は鉄筋向けが増加しましたが、ロードカッターは公共工事が低調なことから、売上は前年を下回りました。

その結果、エンジニアリング事業の売上高は、145億5百万円(前年同期比19.4%増加)、営業利益は9億96百万円(前年同期比33.6%増加)となりました。



リチウムイオン電池用焼成炉

食器事業

主要製品

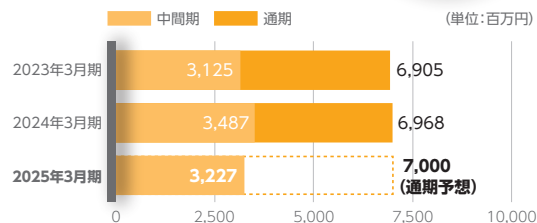
陶磁器食器、その他食器関連商品、
装飾・美術品等

売上高構成比率

4.6%

国内は、エアライン向けの受注が増加し、インバウンドの下支えもあり直営店の売上も増加したものの、ホテル向けが前年度にあった大型案件の受注の反動により減少したため、国内全体での売上は減少しました。海外は、第1四半期は米国での百貨店向けが回復したものの、第2四半期に入り米州向け、アジア向け共に低調でした。その他の国・地域でもエアライン向けが低調であったことから、海外全体での売上は減少しました。

その結果、食器事業の売上高は、32億27百万円(前年同期比7.4%減少)、2億3百万円の営業損失(前年同期は42百万円の営業損失)となりました。



アーカイブコレクション

中間連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	第144期 (中間期末) 2024年9月30日現在	第143期 (前期末) 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	89,712	96,576
固定資産	105,956	105,493
有形固定資産	48,492	46,415
無形固定資産	2,114	1,943
投資その他の資産	55,348	57,134
資産合計	195,668	202,069
負債の部		
流動負債	34,419	41,716
固定負債	11,996	12,382
負債合計	46,416	54,099
純資産の部		
株主資本	124,530	121,096
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,593	18,593
利益剰余金	92,095	87,959
自己株式	△1,790	△1,088
その他の包括利益累計額	23,830	26,004
その他有価証券評価差額金	17,822	19,432
為替換算調整勘定	2,008	2,288
退職給付に係る調整累計額	3,999	4,283
非支配株主持分	891	869
純資産合計	149,252	147,970
負債純資産合計	195,668	202,069

中間連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

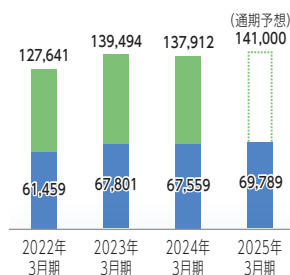
科 目	第144期 (中間期) 2024年4月1日から 2024年9月30日まで	第143期 (中間期) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	69,789	67,559
売上原価	50,262	49,353
売上総利益	19,526	18,206
販売費及び一般管理費	14,083	13,316
営業利益	5,443	4,889
営業外収益	2,188	2,185
営業外費用	413	115
経常利益	7,217	6,959
特別利益	1,120	1,022
特別損失	453	435
税金等調整前中間純利益	7,884	7,546
法人税、住民税及び事業税	1,533	2,479
法人税等調整額	275	△749
中間純利益	6,074	5,815
非支配株主に帰属する中間純利益	25	21
親会社株主に帰属する中間純利益	6,048	5,793

連結業績ハイライト

連結売上高

(単位：百万円)

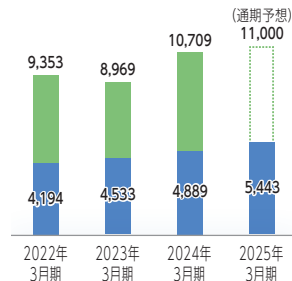
■ 中間期 ■ 通期



連結営業利益

(単位：百万円)

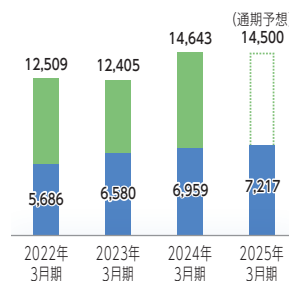
■ 中間期 ■ 通期



連結経常利益

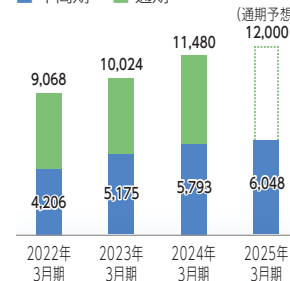
(単位：百万円)

■ 中間期 ■ 通期

親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益

(単位：百万円)

■ 中間期 ■ 通期

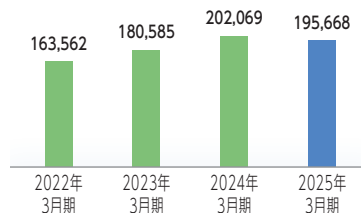


連結財務状況

連結総資産

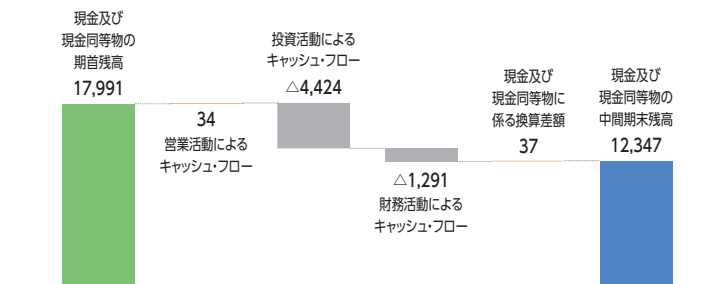
(単位：百万円)

■ 中間期末 ■ 期末



連結キャッシュ・フロー計算書

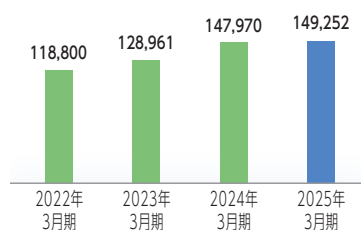
(単位：百万円)



連結純資産

(単位：百万円)

■ 中間期末 ■ 期末

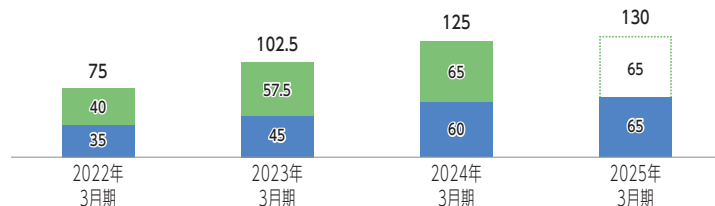


配当金

配当金の推移

(単位：円)

■ 中間 ■ 期末



当期は、中間配当金を1株あたり65円といたしました。
期末配当金につきましては、1株あたり65円を予想しております。

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期以前の配当金については、比較の便宜上、分割後を基準とした数値を記載しております。

TOPICS
1

試験用の水素燃焼式焼成炉を小牧工場に設置

小牧工場(愛知県小牧市)内のヒートテクノ テストセンターに試験用の水素燃焼式焼成炉を設置し、お客様に試験の場を提供します。

今回設置した試験用の水素燃焼式焼成炉では、水素燃焼で製品が製作可能かの試験を行うことができます。燃料ガスの違いが素材や製品に及ぼす影響の評価や、水素と都市ガスの混焼試験、初期投資費用や運転費用の試算などを検証することにより、お客様が水素燃焼式焼成炉の導入を検討できるようにしました。

カーボンニュートラルが求められているなか、水素燃焼はCO₂が発生しない燃焼方法として注目されています。当社は、この取り組みにより、加熱工程の脱炭素化を進め、産業界の環境負荷の低減に貢献していきます。



水素燃焼式焼成炉

TOPICS
2

「カラムレス精製装置」を開発

バイオ医薬品の中の抗体医薬品製造における製造リードタイムの短縮とコスト削減を実現する「カラムレス精製装置」を開発しました。

本製品は、当社の混合器(スタティックミキサー)と分離器(サイクロンセパレーター)を用いて構成した装置で、抗体回収用ビーズ(以下、ビーズ)を含むスラリーや培養液などを送液しながら混合・分離することで抗体を精製できます。

従来の精製工程では、主に円筒状の容器(カラム)にビーズを充填して培養液などを流すことで抗体を精製する手法が採用されていますが、本製品ではカラムを使用しないため、ビーズの充填作業や前処理が不要になり、製造リードタイムを5日から1日へ削減することが可能となりました。また、本製品は、少量のビーズを循環させるため、高価な消耗品であるビーズの使用量を約80%削減することができ、医薬品の製造コスト削減が期待できます。



カラムレス精製装置

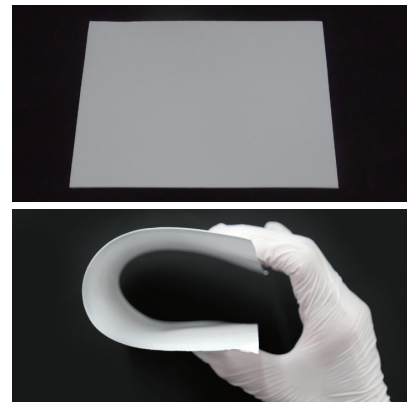
TOPICS
3

DAC用多孔質部材「SUPCA」を開発

大気中のCO₂を直接回収するDAC(Direct Air Capture)用多孔質部材「SUPCA(サプカ)」を開発しました。

SUPCAは、特殊構造の有機物に無機物の粒子(マイクロサイズの吸着材)を複合させる独自技術を活用し開発した製品です。内部の吸着材にCO₂吸収液を保持させることにより、CO₂を吸収・脱離し回収する機能を有するもので、CO₂の吸収が速いことが特徴です。また、柔軟性があるため、加工が容易で、さまざまな形状にすることができるほか、気体が流れやすい形状に加工することで、大気とSUPCAを接触させる際のエネルギー消費量を抑えることができます。

SUPCAの原料の一部には、CO₂排出を抑えて製造されたバイオマス原料を採用しています。今後は、再生原料の採用も進めていきます。



SUPCA

TOPICS
4バンテリンドーム ナゴヤ初の
フィールド上の芝広告を掲出

バンテリンドーム ナゴヤ初となるフィールド上の芝広告※として、当社のコーポレートロゴを掲出しました。選手が試合をする1塁線と3塁線横の2カ所に掲出するもので、プロ野球のシーズン期間中には多くの観戦者の方にご覧いただきました。当社は2024年1月1日に創立120周年を迎えましたが、これからもより多くの方にノリタケを知っていただきたいという思いを本広告に込めています。

※正式名称：ファウルゾーン芝広告



掲出イメージ

会社概要／株式の状況

(2024年9月30日現在)

会社概要

創立	1904年1月1日(合名会社)
設立	1917年7月25日
資本金	156億3,230万4,225円
本社	名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
従業員数	1,795名(連結4,967名)
主な連結対象会社	日本レヂボン株式会社 株式会社ゼンノリタケ 共立マテリアル株式会社 ノリタケ伊勢電子株式会社 株式会社ノリタケTCF Noritake U.S.A., Inc. Noritake Lanka Porcelain (Private) Limited (注)上記を含む連結対象会社23社、持分法適用会社3社

役員一覧

取締役	執行役員
代表取締役会長 加藤 博	常務執行役員 寄田 浩
代表取締役社長執行役員 東山 明	常務執行役員 前田 智朗
取締役専務執行役員 岡部 信	執行役員 加藤 真示
取締役常務執行役員 夫馬 裕子	執行役員 高羽 義明
社外取締役 山本 良一	執行役員 水口 宗成
社外取締役 藤岡 高広	執行役員 谷村 吉也
取締役常勤監査等委員 中村 吉雅	執行役員 山崎 貴司
社外取締役監査等委員 猿渡 辰彦	
社外取締役監査等委員 森崎 孝	
	執行役員待遇
	執行役員待遇 近藤 朋治
	執行役員待遇 森下 貴弘
	執行役員待遇 片田 智之
	執行役員待遇 柴田 英之
	執行役員待遇 清水 英孝
	執行役員待遇 和田 雄磨

株式の状況

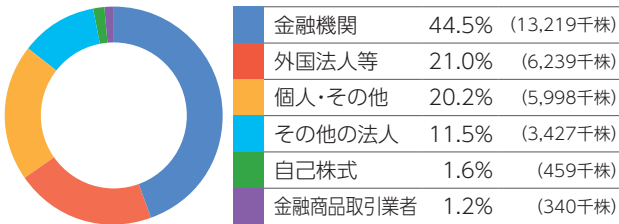
発行可能株式総数	79,500,000株
発行済株式の総数	29,685,698株
株主数	12,730名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,234	11.07
明治安田生命保険相互会社	2,582	8.84
第一生命保険株式会社	2,082	7.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,134	3.88
T O T O 株式会社	814	2.79
日本生命保険相互会社	768	2.63
株式会社三菱UFJ銀行	731	2.50
RE FUND 107-CLIENT AC	500	1.71
ノリタケ取引先持株会	482	1.65
日本碍子株式会社	419	1.43

(注) 当社は、自己株式を459,667株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



WEBコンテンツ「ノリタケとめぐる、喫茶店」連載中！

ノリタケの食器はご家庭用やギフトのほか、ホテルやレストラン、そして日本独自の喫茶文化を作り上げてきた「喫茶店」でも多くご愛用いただいています。

ノリタケのカップ&ソーサーと共に、さまざまなストーリーがある喫茶店を訪ねる人気WEBコンテンツ「ノリタケとめぐる、喫茶店」。昨年の名古屋編に引き続き、今年は東京編を掲載。東京編では、ノリタケと同じ明治時代に創業した「資生堂パーラー」をはじめ、個性溢れる喫茶店を訪ねて、喫茶店の魅力や、喫茶店とカップ&ソーサーが紡ぐストーリーなどを紹介しています。



ノリタケとめぐる、名古屋の喫茶店

URL : <https://tableware.noritake.co.jp/feature/details/000963.html>



ノリタケとめぐる、東京の喫茶店

URL : <https://tableware.noritake.co.jp/feature/details/001054.html>



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。電子公告の掲載アドレスは次のとおりです。
<https://www.noritake.co.jp/koukoku/>

定時株主総会の基準日 3月31日
 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の
 口座管理機関
 同連絡先
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※よくある問い合わせはQRコードからご確認ください。

無料



単元未満株式の
 買取・買増手数料
 未受領配当金の支払

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問い合わせ先

- 当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合は、株主様の口座のある証券会社等にお問い合わせください。
- 当社株式を証券会社等の口座にお預けでない(特別口座に記録された)場合は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

コーポレートサイトのご案内

IR情報やニュースリリースなど、当社に関する情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。

URL : <https://www.noritake.co.jp/>



Noritake

ALLEMANDE



<https://tableware.noritake.co.jp/>

